

TOPIC in HYOGO

全但バス但馬ドーム【豊岡市】

全天候型の大空間を生かし 実証実験や展示会などの利用にも対応

全天候型の多目的施設「全但バス但馬ドーム」が今年4月に改修工事を終え、リニューアルオープンします。最大の特長は屋根が開閉すること。「オープン時は神鍋高原の豊かな自然と一体となった開放感を味わうことができ、クローズした状態でも明るさを確保し、天候を気にすることなくスポーツやレクリエーションを楽しめます」と小野山直樹館長は話します。

施設の特性を生かし、今後は3つの用途を中心に産業利用にも力を入れていこうとしています。まず、製品やサービスの実証実験。1万4,000㎡、高さ60mの大空間を生かし、これまでも30tクレーンを使った落下試験が行われた実績があります。次に展示会。20tトレーラーでも直接ドーム内へ商品を搬入でき、規模に合わせて2分の1、4分の1にスペースを縮小することで利用料（全面利用で平日1時間1万8,800円）を抑えられます。最後はレクリエーション。ある企業は毎年2日間貸し切り、初日は製品メンテナンスの社内技能大会、2日目は運動会を開催しています。城崎温泉や湯村温泉へのアクセスも良く、周辺はアウトドアスポーツ施設も充実しています。「ワーケーションとしての利用も可能です」と小野山館長。

業務企画課の天良昌博課長は「一晩通して試験をしたいといった要望にも柔軟に応えます。こんな使い方ができないだろうかというご提案も含めて受け付けているので、気軽にご相談ください」と呼びかけます。



- ①1998年にオープン。屋根は壁面と一体になって開閉します
- ②天井高を生かし落下物の実証実験に利用されることも
- ③建築資材の展示会の様子。トラックも乗り入れられます
- ④企業や自治会の運動会利用では雨天延期の心配がないと好評です

全但バス但馬ドーム

豊岡市日高町名色88-50

T 0796-45-1900 H <https://www.tajimadome.jp>